

# 松中 PTA だより

令和6年度号

保護者のみなさま、日頃より本校教育活動にご理解、ご協力をいただきありがとうございます。

さて、令和6年度の PTA 活動も3月14日の卒業式を残すのみとなりました。先日の PTA 役員会で役員のみなさまに少し早いですが今年度の活動をふりかえっていただきました。PTA 役員としてとりくんできた感想を聞かせていただきました。



PTA 活動では、仕事と家以外の場所で役員のみなさんと一緒に過ごせたことの良さ、楽しさを感じれました。この歳でママ友ができたという感じで、親として友だちができたと感じれた1年でした。同じ親目線の考え方を知ることができて広がりを持ってました。1年間だけだけどやってよかったとすごく感じています。

PTA 役員を2年間続けてきて、年々充実してきたように思います。PTA になって同年代の保護者との出会いでいろいろなお話が聞けるのがよかった。学校の様子も PTA 役員になってよくわかるようになってきた。続けてきて本当によかった。

想像していた PTA 活動はめんどくさいと思っていたけど、実際やってみれば悪くない…。今まで無関心の立場の方だったけど、純粋に楽しかった。職場、家以外の自分にとっての居場所になって、やってみれば楽しいと思えました。PTA 活動、ちょっと気になると思っている人はやったほうがいい！と言いたいです。

楽しい思い出でしかないです。卓球大会当日も楽しかったし、大会の前の日の練習でメンバーの方々と初めて会ったのにわきあいあいできました。懇親会もいい思い出で初めて会った方々とこんなにも盛り上がったのは初めてでした。松中以外の PTA の方々と出会えたり、市 P 大会も久しぶりに参加できてよかったです。懇親会で濃い話もできて、私と松中との距離がギュッと縮まりました。

3年間 PTA 役員をさせていただいて、かつてはコロナ禍で活動できない中でしたが、フェスタができるようになって、PTA としてベンガラ泥染め体験が広がって、とてもよかったですし、年々進化しているように思います。小さい子など、いろんな世代がとりくめるものになって良かった。

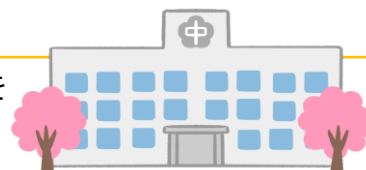


PTA 役員はかつてやっていたことはありましたが、コロナ禍で学校に来れない時期もありました。でも、今ではこんなに学校に来て先生やみなさんとお話しできたり活動できたりしてよかったです。「PTA 活動はやれるときにやれる人で！」というモットーがすごく気持ちよく安心して素直に楽しめました。学校に来て保護者の方々の思いや子どものことが分かったりして、わが子にもいろいろ話したり聞いたりできるようになりました。

わきあいあいさせてもらって関わらせていただいてとてもよかったです。PTA バレーボール大会も卓球大会も楽しくとりくませていただきました。(PTA 役員は)経験して初めてわかることがあるなという思いでいっぱいです。助けられてばかりでできないことも多かったです。私にとっても、子どもにとってもとても良かったと思えました。

小学校からPTA役員をしてきて、実際に松中のPTA楽しいやん！と思えた。新鮮で大人の楽しみができるというか小学校よりちょっと大人、考え方が踏み込んでいて、しっとりしていて楽しい1年でした。PTA活動の楽しさ、大人の楽しさと言えるし、子どもと自分だけの空間ではなく、先生、他のPTAの方と交流出来て自分の気持ちの切り替えにもつながりました。それが子どもとの関りにもよい影響を与えているし、松中の先生のこともわかってきて子どもとの話も増えてきました。

上記以外にも、PTA役員として活動する中で松原中学校のことをこんな風を感じるようになったとおっしゃっていただきました。



- 子どもが(勉強とか部活を)頑張ろうと思えていて、楽しく過ごせている松中に感謝。
- 『学校』というといい印象ばかりの子どもや保護者だけではないと思います。でも、松中はそうじゃない。行ってみたら楽しく過ごせる場所だと思います。
- 勉強だけでなく、部活動やさまざまなとりくみが子どもを少しずつ成長させてくれているように思います。わが子の成長を感じる場面が最近増えました。

一方で、こんな心配や不安なこともあります。と語っていただきました。

- 「なりたい自分」「こんな風に過ごしたい」など身近な目標がないと頑張れない子どもたち
- 情報がたくさんあるのはいいが、情報がありすぎて逆に自分のことを見つめることができず、将来の展望も見つけにくい。

## 【保護者のみなさまへ】

松原中学校の生徒たちは素直で優しく仲間思いの子たちです。一方で、苦手なことや自信のないことには向き合うことがなかなかできない子も少なくありません。私たちは松中生に最初から完璧にできることなんて一つもない、自信がなかったり不安になるのはみんな同じ。大人も同じ。でも、そこから少しずつ周りの仲間や先生方とともに一歩ずつ前に進もう！と伝えていきます。そのために大事なのが『信頼関係』や『安心感』だと思っています。『信頼関係』や『安心感』の中で、初めていろんなことにチャレンジしてみようと思えたり、自分の気持ちを伝えようと思えるのではないかと思います。

一人ひとりにとって今まで以上に居場所となるように、そんな学校に松中になるために、今後も安心できる授業を進め、ともに学習に向かう気持ちを高めていきたいと思っています。そんな中、松中校区で家庭学習の充実に向けて、『松中校区 de 家庭学習キャンペーン』にとりくみました。家庭学習習慣を身につけるためには、とりくんだ家庭学習が日常の授業にも活かされるなど学校はさらなる工夫と改善が必要です。

加えて保護者のみなさまにおかれましても、子どもたちの家庭学習習慣の定着に向けて、ご理解、ご協力をいただきながら、ご家庭でもお声かけいただくなどその環境づくりにご配慮をいただくことも必要であると感じております。学校と家庭、地域が子どもたちの成長をともに願い、より一層連携させていただけたらと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。松原中学校 校長 森 奏

## 松中校区 家庭学習 de キャンペーン

**目的** 松中校区みんなで家庭学習に取り組もう！  
毎日家庭学習する習慣を見につけよう！

**期間** 2月17日(月)～21日(金)の5日間

**やり方** 期間中に配られる家庭学習を家で取り組み、次の日の朝学習で提出する。  
廊下に掲示されている表に提出率と学習係が書きこむ。

- 毎日家庭学習プリントを頑張っている！  
目指せ100%！！
- 松中生はテスト一週間前。テストに向けて、家庭学習や提出物に取り組む。  
一年間最後のテストを乗り切ろう！